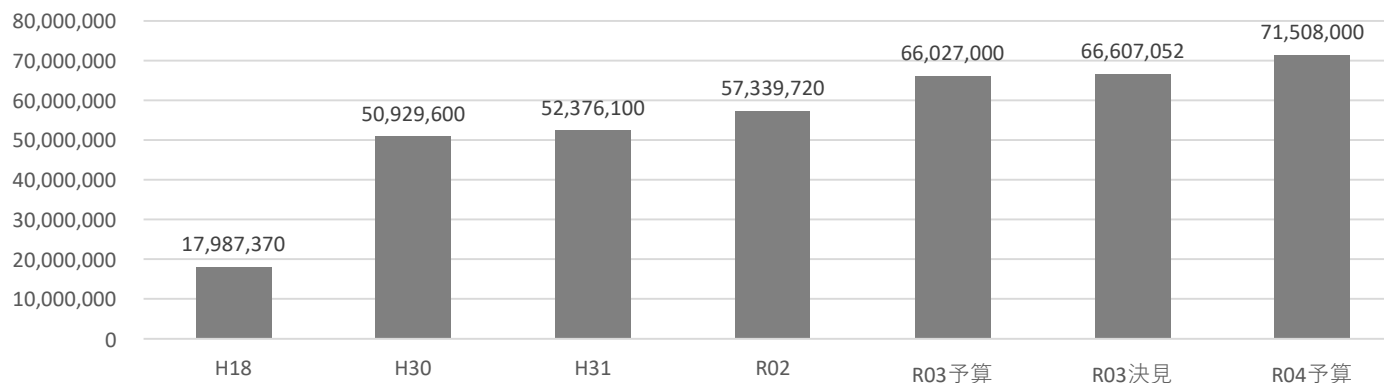


バス運行経費（補助・負担金、委託料）（円/年）

路線	H18	H30	H31	R02	当初	見込	予算
					R03予算	R03決見	R04予算
1.恩根内線	2,693,000	7,673,000	8,343,000	5,498,000	9,627,000	8,082,000	10,155,000
2.下川線	1,008,000	3,231,000	3,816,000	3,511,000	5,998,000	4,950,000	8,797,000
3.中多寄線	2,226,000	3,504,000	4,232,000	4,643,000	4,646,000	4,584,000	4,396,000
4.風連線(H18風連御料線)	3,927,000	8,617,000	4,874,000	4,463,000	6,350,000	5,046,000	6,020,000
5.御料奥	714,000	536,000	0	0	0	0	0
6.日進ピヤシ線		9,199,000	10,065,000	10,113,000	11,200,000	10,750,000	10,900,000
7.コミバス(H18東西線)	1,893,000	8,328,000	9,103,000	9,938,000	11,500,000	10,656,000	12,000,000
8.忠烈布代替ハイヤー	878,370	642,060	572,240	479,420	1,000,000	1,000,000	1,000,000
9.下多寄線D(H18下多寄線)	3,703,000	3,387,960	3,419,380	3,691,600	3,932,000	3,932,500	3,932,000
10.御料線D		1,580,580	3,190,480	3,219,700	4,458,000	4,384,552	5,550,000
11.興部線	945,000	4,231,000	4,761,000	6,061,000	7,125,000	6,436,000	8,758,000
12.徳田線	0	0	0	0	0	0	0
13.名寄線道北バス	0	0	0	5,722,000	191,000	6,786,000	0
計	17,987,370	50,929,600	52,376,100	57,339,720	66,027,000	66,607,052	71,508,000
対H18増加額							398%

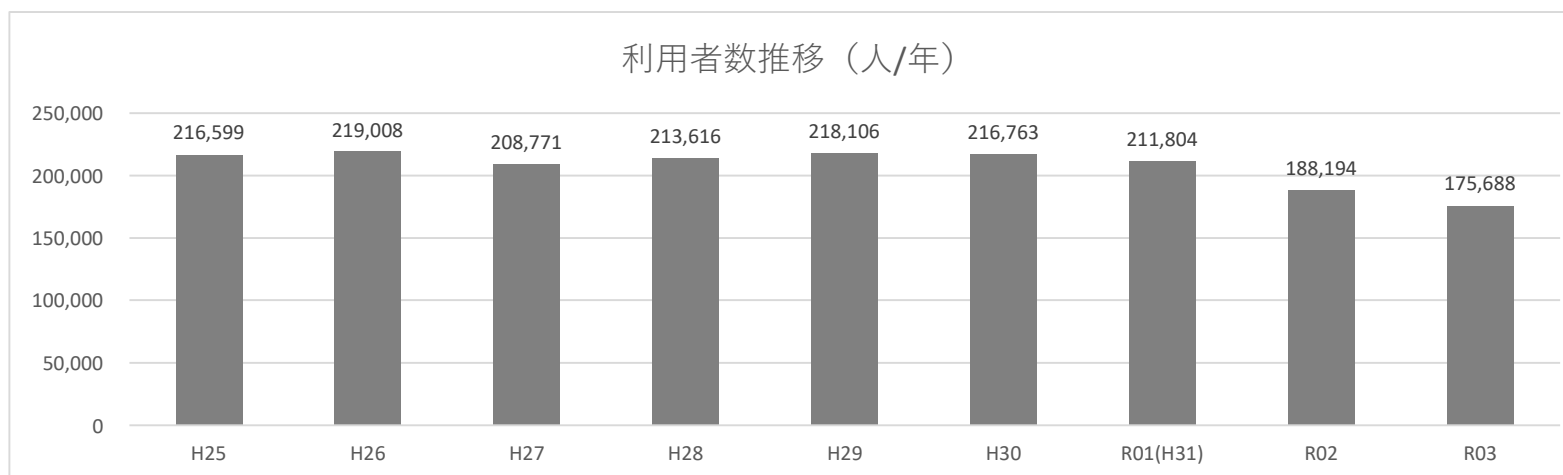
※国・北海道の追加支援額は未反映

バス運行経費（補助・負担金、委託料）（円/年）



総合計画 K P I 21万人

年次	路線	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01(H31)	R02	R03
バス	4.風連線	22,431	21,054	19,851	19,124	19,513	17,163	15,404	12,713	11,477
バス	6.日進ピヤシ線	14,831	12,889	14,557	12,234	12,378	14,816	14,126	12,641	13,008
バス	7.コミバス	43,750	50,336	47,047	45,632	49,278	48,363	44,295	32,139	33,711
通常	8.忠烈布代替ハイヤー	434	422	306	529	518	297	262	208	-
バス	9.下多寄線D	5,548	5,468	4,909	4,026	3,408	3,333	3,224	2,440	1,953
バス	10.御料線D	0	0	0	0	0	0	2,388	1,893	1,624
バス	12.徳田線	129,605	128,839	122,101	132,071	133,011	132,791	132,105	126,160	113,915
計		216,599	219,008	208,771	213,616	218,106	216,763	211,804	188,194	175,688
前年増減額			2,409	-10,237	4,845	4,490	-1,343	-4,959	-23,610	-12,506
前年比			101.1%	95.3%	102.3%	102.1%	99.4%	97.7%	88.9%	93.4%



【主な成果指標】

指標項目	基準値	目標値	説明
バス利用の促進	21万人 (H29)	21万人 (H34)	市内運行バス利用者数(平成29年度利用水準の確保)

名寄市地域公共交通活性化協議会 御中

名寄市西 4 条南 10 丁目 1 番地 4

名士バス株式会社

代表取締役 南原眞一



要 望 書

現在運行中のコミュニティーバスにおいて、西回りの運行を減便したい。

当初市内回り、東西線を合わせコミュニティーバスの実証運行を始め、本運行開始し、現在の運行を行っていますが、東回りはある程度補助金として頂いているも、西回りに関しては少額の補助金しか頂いていない。

当初から現行の西回りに関しては、利用者が少ないため減便を考えていましたが、コミュニティーバスの運行をするということで計画に乗って運行開始。

しかし、ここ数年間西回りの赤字額は増える一方、その上車両の老朽化が進むが車両の更新の難しさ、利用客の減少、最大な問題として運転手不足により業務に支障を来しております。

本来であれば、西回りの完全廃止をしたいところですが朝の利用者が少なくともあるため、朝の運行を残し日中の運行を休止したいと思います。

今後、現在コミュニティーバスとして運行している専用のカラーは車両更新の際、継続していくのも難しいと思われま。

以上のように西回りの運行は難しく、ここに減便したいことを要望いたします。

減便内容

- ・ 7 : 1 0 発、7 : 5 5 発の 2 便を残し、他の便は廃止（1 1 便→2 便）
- ・ 減便とはなりますが東西回りが運行されているので、アクセス性は確保されております